



平成24年度 2級舗装施工管理技術者試験 〔一般試験〕解答試案

問	解答	ポイント解説
1	1	上載荷重の影響はない
2	3	塩ビパイプカルバートは可撓性である
3	4	110cmを標準とする
4	2	支給材料は発注者に返還する
5	3	協議とは発注者と受注者が対等な立場で書面により合議し、結論を得ること
6	4	ダレ試験はポーラスAs混合物の試験
7	1	区間のCBR $5.0 - 1.1 = 3.9$
8	2	路床の支持力評価が必要である
9	4	5号砕石の粒径は、20～13mmである
10	1	修正CBR20以上
11	3	㏂-値はAs量が増えると大きくなる
12	2	練混ぜ水、養生水に海水は使用不可
13	4	透水性舗装の表層はポーラスAs混合物
14	3	タングルバはコンクリート舗装の粗面仕上げに用いる
15	1	六価クロム溶出量はセメント安定処理
16	2	骨材の投入混合後に、Asを噴射する
17	1	ダンプトラックによる運搬の場合は1時間
18	3	継目転圧→初転圧→二次転圧の順
19	4	線圧の小さなローラを用いる
20	2	クッカで十分混練し、流動性を確保
21	4	(1)スプレッダ(2)コンクリートフィニッシャ(3)表面仕上げ機
22	1	ラベリング試験ではすり減り量を求める
23	3	表面処理工法は機能的対策工法である
24	3	路上破碎混合機は路上路盤再生工法用
25	4	施工計画書は提出するが、承諾は不要
26	1	建設資材、指定副産物による規模に対応
27	2	ネットワークでは工期に影響する作業が判明
28	3	交通流対面2m、その他4m
29	4	歩行者や一般車両が優先である
30	2	工程能力が変化するので頻度を増す

問	解答	ポイント解説
31	3	①設計図書、②④受注者、③検査基準
32	1	①検査員、②発注者
33	4	締固め度等(粒度、セメント量)
34	3	塑性変形輪数の確認(動的安定度)
35	2	週40時間労働制、休憩時間1時間
36	1	検査は20日以内、支払い1月以内
37	2	49kNが基準
38	4	大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音の4つ
39	2	ブレーカは該当。手持ち式は除外
40	1	金属くずではなく、木材



技術検定研修協会

仙台市青葉区二日町13-22カルコス仙台ビル306

■TEL.022(346)6251
■FAX.022(266)0868



平成24年度 2級舗装施工管理技術者試験 〔応用試験〕解答試案

問1. 経験記述

省略

問2. 舗装のひび割れ

①	下面から上方
②	20
③	劣化
④	横断方向
⑤	リフレクションクラック

問3. アスファルト舗装に用いる材料

①	1.0
②	80
③	タックコート
④	流動抵抗性
⑤	マーシャル安定度試験

問4. 各種の舗装の施工

①	安定処理
②	安定材
③	プリスタリング
④	空隙つぶれ
⑤	70℃

問5. アスファルト舗装の破損と補修

①	3mプロフィールメータ
②	FWD
③	打換え
④	流動わだち
⑤	コルゲーション



技術検定研修協会

仙台市青葉区二日町13-22カルコス仙台ビル306

TEL.022(346)6251

FAX.022(266)0868